

## 令和4年(2022年)4月 青果部 主要品目の市況

種類	品名	市況の概要	2022年4月 数量 (トン)	2022年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	大根	主要産地は千葉県産・茨城県産でした。作付け減の影響により、数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	382	104	74%	132%
2	キャベツ	主要産地は千葉県・神奈川県産でした。生育の遅れと降雨の影響により数量は減少しました。前年が単価安だったこともあり、平均単価は大幅に高く推移しました。	1,139	111	84%	156%
3	野菜 トマト	生育の遅れがあったが、後半には出荷量が増えたため、数量は前年並みとなりました。平均単価はやや高く推移しました。	397	360	102%	108%
4	レタス	主要産地は茨城県産でした。降雨や低温の影響により、出荷量は不安定であったものの、数量、平均単価ともに高く推移しました。	383	169	111%	119%
5	馬鈴薯	鹿児島県内の降雨続きにより、本土の出荷に減少が見られたが、徳之島、種子島の出荷は安定しており、全体的な数量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	344	263	111%	85%
6	果実 その他柑橘	晩柑類の入荷が年明けごろ前倒し傾向であったため、切り上りが早くなった結果、数量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	347	336	87%	97%
7	りんご	晩柑類・果菜類等といった競合果物の出荷減により、りんごの需要が高まった結果、数量はやや増加し、平均単価はかなり高く推移しました。	195	370	105%	148%
8	いちご	地域によって、気温の影響等で、出荷が伸びず数量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	166	1,189	96%	114%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上